



イラスト:和田中5組(特別支援学級)の生徒さん 作

ボランティア通信

発行 社会福祉法人 多摩市社会福祉協議会
多摩ボランティアセンター

TEL 042-373-6611 FAX 042-373-5612

<http://www.tamashakyo.jp/volu/>



携帯に送る

5月号

今月の必見!!

- 新しい一歩を踏み出してみたい方へ。ボランティア募集も満載! ➡ 1・2・5・6頁へ GO!
- 東日本大震災 多摩発 国士舘大学復興支援活動レポート ➡ 3・4頁へ GO!
- 地域情報・催しや助成情報をぜひご活用ください! ➡ 7・8頁へ GO!

ボラセン TOPICS

今年度も始まります!

ボランティア入門講座 始めて 😞 初めて 😊 ボランティア 😊

参加者 募集中!!

あなたの「はじめのいっぽ」を
応援します!!

広くいろいろな体験の中から、自分にあった活動を見つけたい方、
5回連続講座です!

対象者: ボランティア活動を始めたいとお考えの方
場 所: 多摩ボランティアセンター(総合福祉センター7階)
定 員: 15名(申込先着順) 参加費: 500円(資料代)

日 時: 6/13~7/11(月曜日) 10時~12時

内 容: 車いすの基本操作 身体障がいの方のお話と車いす操作体験
「傾聴」とは 話上手は聴き上手
聴こえない方とのコミュニケーションの方法 聴覚障がいの方のお話と要約筆記体験
発達障がいを知る 発達障がいを理解し、支援する
障がい者理解とこれからの活動について 知的障がい者理解と地域サポーターについて

申込/問合せ

多摩ボランティアセンター
042 373-6611



予告!夏のボランティア体験2011

夏のボランティア体験は...

ボランティアは初めて...という方には参加しやすい活動体験です。活動期間の中で、ご自分のスケジュールと希望に合った活動先を選んでご参加下さい。必ず、新たな出会いと発見があります!

活動期間: 7月25日(月)~8月31日(水)

活動先: 市内・近隣の高齢者・障がい者・児童施設、ボランティア・NPO団体など

対 象: 小学生以上~社会人 シニア(概ね65歳以上)の方 歓迎します!

参加費: 300円(ボランティア保険料。今年度の同保険加入済の方は無料)

申込期間: 6月10日(金)~7月9日(土)

詳細はHP、
通信6月号で!

ご希望の方には添付メール(PDF ファイル)で配信いたします。毎月第1木曜日発行

E-mail: tamavc@tamashakyo.jp へ「V 通信希望」の空メールを送信してください。

参加者募集!

50代&60代のための市民プロデューサー養成講座

「TAMA一步塾」実践編



地域の中で中心となって課題解決のための事業を起こし、地域とつながり、地域で信頼され、継続し事業活動ができる「市民プロデューサー」の養成講座(実践編)を開催します。

入門編を踏まえて、地域で事業型NPOを立ち上げることを想定し、そのための事業計画書を作成することを目標にしています。この講座を通じて「思いをカタチに」してください!

	日 時	会 場	講 座 の テー マ
第1回	2011年5月28日(土) 13時00分～17時00分	関戸公民館 大会議室	失敗・成功事例からコミュニティビジネス(CB)を始めるための法則を知る CBの必要性・法則 立ち上げ事例
第2回	2011年6月11日(土) 13時00分～17時00分		地域資源の活用法 CBのアイデアまとめ 地域資源さがし、自分の思い
第3回	2011年7月16日(土) 13時00分～17時00分	聖蹟桜ヶ丘 駅前 ヴィータ・ コミュニネ 8F	自分のコミュニティビジネス実現法 事業計画の手法(資金確保・財務計画) 集客・コミュニティづくり・組織方法
第4回	2011年7月30日(土) 13時00分～17時00分		事業計画書の作成
第5回	2011年8月6日(土) 13時00分～17時00分		事業計画書の作成 事業計画書の発表・講評

対象者 市内及び近隣在住の概ね50～70歳までの方で5回連続参加できる方

定員 30人(申し込み先着順) 参加費 3,000円(5回分の資料代)

講師 堀池喜一郎氏(多摩CBネットワーク世話人)、山根真知子氏(NPO法人事業サポートセンター理事)、春野真徳氏(株式会社スプリングフィールド代表取締役)

申込 電話で、**関戸公民館 ☎042-374-9711** へ

主催 多摩市関戸公民館・多摩市市民活動情報センター・多摩ボランティアセンター

～今、わたしたちにできること～

多摩センターこどもまつり2011 街頭募金等のご報告

～復興へのあたたかいご支援

ありがとうございました～

★5月3日～5日の3日間、「多摩センターこどもまつり2011」会場にて、多摩センター地区連絡協議会・多摩市社会福祉協議会により「東日本大震災義援金街頭募金」を実施しました。肌寒い日もありましたが、子どもたちが自分のお財布から募金をしてくれる姿がとても印象的でした。多くのボランティアの皆さんにご協力をいただき、本当にありがとうございました。

★街頭募金以外にも、まつり期間中、ボーイスカウト・ガールスカウトの皆さん、近隣大学のサークル、出店者の方々、「復興支援チャリティハンドマッサージ」(福祉ショップ「きずな」前で3日間開催)から義援金として頂きました。皆様から頂きました募金は中央共同募金会を通

ボランティア基金へのご寄付

匿名(2件) 1,000円、10,000円

(4/30現在)

皆様のあたたかいご厚意に感謝申し上げます。

募金総額 計 828,015円

じて、復興のために全額被災地に届けられます。

★震災から2ヶ月、震災に関する報道は減ってきている感もありますが、被災地への様々な支援がまだまだ必要不可欠です。社会福祉協議会では、引き続き、被災地の一日も早い復興に向けて支援活動に取り組んでまいります。支援活動に関する情報については、多摩市社協HP、ボランティアセンターHP上等でも発信をしていますので、今後も皆様からのあたたかいご支援をよろしくお願い致します。



3.11 東日本大震災

～多摩発 復興支援活動レポート～

国土館大学体育学部 緊急救援活動報告

震災から2カ月が過ぎました。多摩地域から被災地に行き、支援活動を行っている様子をご紹介します。活動を通じて、私たちにできることを共に考えていきたいと思います。

国土館大学は、1917(大正6)年に私塾「国土館」として、活学を講ずる教育道場として創立され、国家社会に貢献する人材を養成することを教育の柱としてきました。多摩キャンパスで学ぶ体育学部の卒業生の多くは、体育の教員、警察官、消防士や救急救命士として活躍するものが多い大学です。

東日本大震災では、翌日から緊急災害支援チームを被災地に派遣し、継続的に救援活動を行っています。



第1次派遣 厚生労働省からの依頼を受け、災害急性期(発災後72時間以内)の救命活動を目的に、3月12日午後3時、多摩キャンパスを出発しました。

メンバーは救急専門医である田中秀治教授をリーダーとし、櫻井勝体育学部教授、張替(はりかえ)喜世一同准教授、中山友紀同講師、永吉英記同講師、高橋宏幸救急システム研究科助手、喜熨斗(きのし)智也同助手、白川透同非常勤助手、大形敏之体育学部職員8人のチームです。

福島県や仙台市など各地の本部で救援体制を確認した後、被害が大きく医療支援が手薄な宮城県石巻市を目指しました。到着後、石巻赤十字病院 飯沼病院長からの要請で、本学チ

ームは自衛隊や消防庁のヘリコプター(1日あたり157機)で運ばれてくる負傷者に対し、トリアージ(重傷度選別)と中等症患者・軽傷患者の治療を行いました。また、石巻周辺地域の雄勝地区の被災者の巡回診療など医療支援に力を注ぎました。



第2次派遣 急性期の救命活動から、第2次派遣は支援物資を輸送することを目的に、石巻市の依頼を受け、3月21日から活動を開始しました。企業等と連携し、水、インフルエンザマスク、経口補水液のほか、断水している地域に体を拭く抗菌ウェットタオルなどの医療支援物資を避難所などに搬送・提供しました。

さらに、南三陸町志津川歌津の介護老人保健施設では、避難住民170人に対し巡回診療を行いました。



第3次派遣 第1次・第2次派遣先の石巻赤十字病院や南三陸町避難所の支援を継続しつつ、被災者の日常的な生活支援を目的に、4月4日から5月8日まで、被災者支援学生ボランティアチームを約1ヵ月間、継続的に石巻市に派遣しました。

3泊4日の行程で、1チーム30名程度に編成し、参加学生数は200名を超える人数になりました。石巻専修大学グラウンドにベースキャンプを設置、石巻市内を中心に、道路に山積みされたガレキや泥の除去作業や、自宅内の泥出し等を行ってきました。

また、味の素スタジアム、東京武道館、東京ビックサイト、国際フォーラムに設置された避難所においても国土館大学体育学部スポーツ医科学科の医師、救急救命士、または救急救命士として活躍している卒業生らが毎日交代で巡回診療と健康管理を行いました。

現在のボランティア活動<石巻市> 9つのチームに分かれています。移送、キッズ、心のケア、生活支援、炊き出し、復興マインド、マッドバスターズ、メディカル、リラクゼーションです。この中で私達が活動を行ったのは、現在一番のニーズがあるマッドバスターズ、いわゆる泥かき部隊です。主な活動としては、民家の泥出し、家具出し、畳上げなど10名で1件の割合で行います。その後、状況を見て床板をはがして床下の泥も出します。

「まちなかスマイルプロジェクト」という街中を明るくする活動が、毎週末に行われています。週末ともあって、マッドバスターズだけで1000～1500人、瓦礫撤去や民家の泥出し、道の清掃や開通などの活動を行いました。まだ手をつけていない地域なども多く、壊滅的な地域ではボランティアの活動ができることも限られています。活動を通じて多くの人に感謝され、街が生き返る瞬間を目にしたことが今でも印象に残っています。



住民のニーズは、尽きる事はありません。活動をしていると多くの住民からの声を聞くことができ、必要なもの、やってもらいたいことなどがわかります。物資は皆さんが平等に受け取ることができるように配布をしていますが、全ての人々のニーズには応えられないのが現実です。

がんばっ! **絆** 石巻!!

今回、被災者支援学生ボランティアチームの派遣をサポートするために、国土館大学多摩キャンパスに設置された被災者支援本部に残って事務業務を行っていました。現地で活動しているスタッフからの連絡を受けて、食料などの物資を準備し現地に送る作業だったので、現地の状況は想像するだけでした。

しかし、4月最後の派遣チームに参加し石巻に行くことが出来ました。現地の状態はあまりにもひどく、心が痛みましたが、被災者の方々の笑顔や、強さに涙がこぼれそうになりました。また機会がありましたら、微力ながらもぜひ協力していきたいです。

国土館大学体育学部 4年 田口興輔



この度の地震と津波により被災された皆様、衷心よりお見舞い申し上げます。

皆さまのご健康と一日も早い復旧を心より祈りながら、微力ではありますが支援を続けていきたいと思っております。現地で支援活動してみると、予想以上に、困っている被災者の方がたくさんいらっしゃるのことがわかります。多くのボランティアの協力を心待ちにしています。実際に被災地に行って活動を行うことは、自分一人の力や一つの団体では難しいことがたくさんあり、なかなか行動に移すことができません。継続してボランティアを派遣するためには、地域が一つになってボランティア派遣体制を整えていく必要があります。国土館大学も、多摩市の皆様と一緒に支援活動を行っていきたく思っています。

永吉英記(国土館大学体育学部)

連絡先

国土館大学ウエルネス・リサーチセンター
URL <http://wrc.kokushikan.ac.jp/>
E-MAIL nagayosi@kokushikan.ac.jp

東京都多摩市永山7-3-1
TEL/FAX 042-339-7227

ボランティアさん 出番です!
～申し込み・問合せはお気軽に～
☎042-373-6611

他にも活動先はたくさんあります。
活動によっては見学体験ができます。
詳しい説明をしますので、遠慮なく
お電話下さい。相談だけでも結構です。



単発ボランティア募集

	名称・活動先	内容・募集人数	日時	備考
New!	1 ボランティアセンター 場所：総合福祉センター 5階調理実習室 ほか	地震避難訓練時のアル ファー米、豚汁調理、 配付と片付け等 10名 8名 6月1日(水)14時～ 総合福祉センターで地 震を想定した防災訓練 を実施。訓練の一環で 炊き出しを行います。	5月31日(火) 10:00～13:00 (予定) 6月1日(水) (当日) 12:00～17:00 (予定)	エプロン、三角巾持 参 訓練前日の5/31に 調理・準備します。 * のいずれか一 日だけの参加可
New!	2 TAMA女と男がともに生きる フェスティバル2011 場所：TAMA女性センター ヴィータコミュニネ7階 ・042-355-2110 (中井・斉藤)	講演会等の会場案内、 受付等 各日6名	6月25日(土) 12:30～16:30 6月26日(日) 12:00～17:00	詳細は問い合わせ

継続ボランティア募集

	名称・活動先	内容・募集人数	日時	備考
New!	1 デイサービスまほろば 場所：多摩市落合6丁目	利用者とのマージャン および話し相手 2名	1回2時間程度	曜日は応相談
New!	2 対面朗読 場所：要請者個人宅 (多摩市南野)	雑誌・新聞等の朗読、 および傾聴 男性 1名	第2・4木曜日 10:00～12:00	交通費は要請者負担
New!	3 新天本病院 場所：中沢2-5-1	園芸指導 1～2名	週3回程度	駐車場利用可 交通費は自己負担
	4 南野デイサービス 総合福祉センター 4階	利用者の話相手・お茶 出し・プログラム補助 若干名	月・火・水曜日 9:00～16:00 曜日・時間は応 相談	交通費は要請者負担 お昼にかかる場合は 弁当持参
	5 多摩中央病院 場所：連光寺2-62-2	入院されている方の散 歩付添い 1名	金曜日 9:00～11:30	

	名称・活動先	内容	日時	備考
6	リハビリ介助 場所：要請者宅 (鶴牧3丁目) 参考HP http://www2u.biglobe.ne.jp/catch/	脳性マヒの肢体不自由の男児(2歳)のリハビリプログラム介助。 1回 1～2名	月～日曜日の 午前または午後の2 時間程度 週1回でも可	交通費は応相談 *1セット30分の 身体訓練を1日4～ 5セット毎日継続 して実施すること で、脳の機能回復を 促します。 活動者が不足し ています！！
7	障害者福祉センター 総合福祉センター5階 水浴訓練室 身体に障がいのある方が水中機能訓練を受ける際の水中でのアシスト	水中機能訓練アシスト 月10:30～12:00 13:00～14:30 火10:00～11:30 13:00～14:30 木13:30～14:30 14:30～16:00 金10:00～12:00 13:00～14:30 毎週活動できない方、上記以外で活動を希望される方はご相談ください。		交通費は要請者負担 利用者と一緒に体験してから活動 水中機能訓練の見学可
8	ボランティアセンター 総合福祉センター7階 ボランティア活動室	車いす整備	5月17日(火) 10:00～12:00	初めての方でも大丈夫です
9	ボランティアセンター 総合福祉センター7階 ボランティア活動室	ボランティア通信の封入・発送作業	6月2日(木) 13:30～	初めての方でも大丈夫です

出番待っています！

特技や技術をボランティア活動に活かします

押し花指導	自宅で採集した草花を使って、ハガキ用の押し花制作の指導をします。月～水曜日午前中に活動できます。サロンなどにも行きます。
梅后流江戸芸 かっぱれ	軽快な三味の音にのって、浴衣1枚で見て楽しい踊って楽しい芸を披露いたします。一緒に活動して下さる方も募集しています。一緒に活動しませんか。無料体験入学も実施中！見学だけでもOK！詳細は下記連絡先までお問い合わせください。 連絡先：小林 電話090-2662-5610

活動します！活動しました！

単発ボランティア活動

- (1) 障がい者施設 イベント 1団体
- (2) 災害支援ボランティア
 - 物資仕分け・受付 のべ280名
 - 義援金街頭立ち のべ182名
 - 義援金募金額 約195万円
 - (出張相談・子どもまつり ほか)

継続ボランティア活動 車いす整備 3名、リハビリ介助 3名、
デイサービス 1名、歩こう会 1名



地域の情報と催し

記載のないものは
参加費無料・直接会場へ

救援キャンペーン 東日本大震災 被災地への救援物資を集めています。

NPO 法人ひまわりでは、東日本大震災の被災地への支援物資を募集しています。「何か協力したい」という方々の想いを集め、被災地にお届けします。

協力ご希望の方は、
提供できる品名と数量(すべて必ず新品)を
記載の上、下記アドレスまでメールを送信して
ください。

必要物資は日々変化しており、詳細はこちらから
折り返しメールを返信させていただきます。お預
かりした物資は、被災地の支援団体に送付する予
定です。

電話での対応はしていません。

申込：下記メールアドレスまで

sunflower_npo@yahoo.co.jp

問合せ：NPO 法人ひまわり 担当:徳永

NPO 法人ひまわりとは ...

2007年より、任意団体として「ワンコイン運
動」という募金活動を開始しました。府中市・多
摩市を中心に200以上もの店舗に募金箱を設置
し、ご協力いただいております。集められた募金
は、「WFP(国連世界食糧計画)」及び「国境
なき医師団」に送金していましたが、東日本大震
災発生に伴い、現時点では義援金へと切り替えて
活動しています。

多摩ボランティアセンター 登録団体連絡会だより vol.35

すでに桜は若葉にかわりつつある、4月20日新
年度の連絡会が開かれました。登録団体35から
21団体が連絡会に参加していただき、連絡員に
はじめてなられた人も5名。お互いに会や自己紹
介をしたあと、世話人の選出、年間計画の確認な
ど新年度としての議事進行。大震災・原発事故と
いう未曾有の事態ではありますが、昨年に引き続
き、「災害」をテーマに、さまざまな活動を進め
ていくことにしました。さらに一層ボランティア
の重要性、期待が高まっています。多くの人々の
想いを、形にしていけるよう、いっしょに行動し
ましょう。(とのぐさ)

次回定例会 5月18日(水)13:30～
総合福祉センター7階



みんなキラキラしてるよ！ 東京都東村山福祉園
「きらぼ展」アートだよ、全員集合！

明星大学ボランティアセンター(きらきらボラン
ティアセンター)設立3周年記念企画絵画展です。

東京都東村山福祉園は、重い知的障害をもち、
常時介助を必要としている児童の自立支援、行動
障がいの軽減と調和のとれた発達を図るために設
立されました。利用者さんのアートに触れてみま
せんか。

日時：6月13日(月)～17日(金)

10:00～16:30

会場：明星大学日野校22号館・大学会館2階

ボランティアセンター横 会議室

最寄駅：多摩モノレール 中大・明星大学駅

企画協力：絵本作家 南控控(みなみ くるくる)

問合せ：明星大学ボランティアセンター

☎042-591-6231

E-mail: kiravo@gad.meisei-u.ac.jp

多摩ボランティアセンター登録団体

「カランドリエの会」お礼とご報告

皆さまから寄せられた使用済み切手等を整理・分
類し、特別支援学校「多摩桜の丘学園」や盲老人
ホーム「聖明園」等に寄付をしています。今年度
もご協力をよろしくお願ひします。

【前年度の実績】

使用済み切手	270,000枚
プリペイドカード	12,200枚
ベルマーク	40,491点
未使用葉書	115枚

【集めれば 宝】収集箱設置場所

ボランティアセンター・永山分室の他、市民活動情
報センター、永山公民館、市役所1階ロビー、総
合福祉センター3/6/7階、福祉ショップ「きず
な」、南部地域病院、聖の郷、南農協多摩支店、各
コミュニティセンター、郵便局(本局/永山局/貝取
北局)、管理組合窓口など

収集箱を置かせていただけませんか。

多摩ボランティアセンター永山分室までご連絡
ください。

♥情報をお寄せください！

ボランティア通信は、市民活動団体等の講座、
イベントなどの地域情報を掲載しています。
ご希望の方は連絡先を明記の上、多摩ボラン
ティアセンターまでメール/FAXでお送りください。
毎月20日締切。
編集の都合上、掲載できない場合があります。
あらかじめご了承ください。

参加者・ボランティアさん募集中!

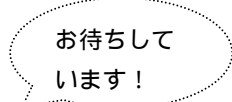
名称	日時・場所	毎月	費用・持ち物	問合せ
<スペース・ひなた> 精神障がい者支援 ボランティアグループです 	5/18、6/1(水)	10:00～12:30 健康センター3階(関・一つむぎ館) 第1・2・3水曜日 祭日は休み	100円 (お茶代)	多摩ボランティアセンター ☎373-6611
おいしんぼクラブ・もみじ亭 メンバー(精神障がい当事者) とボランティアと一緒に昼食を 作ります。	6/8(水)	10:00～14:00 総合福祉センター5階調理実習室 第2水曜日	材料費 エプロン/三角巾	
グループTOMO/料理訓練 障がいの有無に関わらず、ご参 加ください。	5/23(月)	10:00～15:00 永山公民館4階調理室 《肉じゃが・かやくご飯・サラダ・ デザート》 今回のみ第4月曜日	800円 エプロン/持ち帰り容器 米2カップ	グループTOMO ☎/FAX 389-1234 (5/19締切)
多摩市視覚障害者福祉協会 「歩こう会」視覚障がい者の方 とボランティアと一緒に歩行 介助を学びながら歩きます	5/25(水)	10時集合 時間厳守 永山駅交番前集合 多摩センターへ 遊歩道散策 雨天/パルテノン多摩 マジックサウンドルーム 第4水曜日	弁当・飲み物 雨天 昼食代・交通費	斉藤 ☎371-1768 (5/23締切)

助成情報～詳細は各HPをご覧ください～

- (財)みずほ教育福祉財団 第28回「老後を豊かにするボランティア活動資金」** 締切5/31(火)必着
 地域社会で高齢者のための活動をすすめている幅広いボランティアグループ(ボランティア数10～50名
 活動実績2年以上) 対象外:法人格を有する団体・老人クラブ。活動に直接使用する用具・機器類の購入に
 限定(材料費を除く) 助成額:10万円/1グループ(180グループ程度)
 申込/問合せ:(財)みずほ教育福祉財団 福祉事業部 担当:藤井 ☎03-3596-4532
 FAX03-3596-4531 <http://www.mizuho-ewf.or.jp/>
- 大和証券福祉財団 災害時ボランティア活動助成** 締切5/31(火)当日消印有効
 「東日本大震災」での、被災地への復興支援として災害時ボランティア活動を行っている団体・グループ
 (5名以上)。特に学生及び専門性を必要とするサポート活動を行っている専門職団体・グループ
 対象:器具・機材の購入、現地での交通費等 助成額:上限50万円(総額3,000万円)
 申込/問合せ:公益財団法人大和証券福祉財団事務局 ☎03-5555-4640 FAX03-5202-2014
<http://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline2.html>

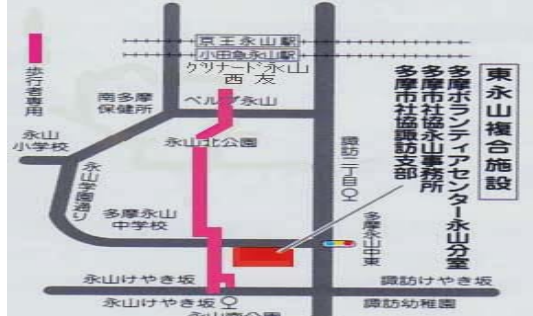
土曜日の窓口変更のお知らせ

ベルブ永山3階 13:30～15:30
 今月から第2 第3土曜日(5月は21日)になります。



多摩ボランティアセンター
 月～金 8:30～17:00
 〒206-0032 多摩市南野3-15-1 総合福祉センター7階
 (小田急線「唐木田駅」下車 徒歩8分)
 TEL 042-373-6611 FAX 042-373-5612
 e-mail→tamavc@tamashakyo.jp

多摩ボランティアセンター永山分室
 月～金 9:00～17:00 第2土曜日
 〒206-0025 多摩市永山3-9(東永山複合施設内)
 (小田急・京王線「永山駅」下車 徒歩10分)
 TEL 042-373-6642 FAX 042-306-1132
 e-mail→tamavc-nagayama@tamashakyo.jp



土曜日の窓口 第1/市民活動情報センター 13:30～15:30 第3/ベルブ永山3階 13:30～15:30
 第3・4・5/総合福祉センター7階 8:30～17:00